



病院長就任に際して

副理事長・病院長 西山正彦



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、社会全体に甚大な被害を及ぼしています。現在も感染は世界に拡大し続け、医療・介護のみではなく、教育、財政、経済等、すべての日常活動に大きなダメージを与えています。今後の見通しは依然不透明で、不安が募り、患者・人種差別の助長や経済的逼迫による治安の悪化などの社会問題も生まれています。長年にわたって築き上げてきた世界の日常生活は、半年ほど前までほぼ誰も知らなかったこのウイルスによって、わずかの期間で大きく軋み悲鳴を上げています。

今までも、コロナウイルスは、2003年に重症急性呼吸器症候群(SARS)、2012年には中東呼吸器症候群(MERS)として世界的感染を引き起こしてきました。なのに、なぜ、現在のような状況が生まれたのか？ そしていまお混とんとしているのか？

個人的には、「今さえよければ、自分さえよければ、それでいい」という発想の蔓延が大きく作用しているように思われてなりません。危機管理において、エゴや刹那、目先の利益重視からは、決してベスト、ベターな結果は得られません。先を見れば一瞬にして状況は変わる。事実、今回の感染もすでに2年前に予測されており、その重要性に気づかず、十分な対応ができなかったことは明白です。SARSやMERSの特効薬もワクチンもいまだありません。

自身も含め、社会全体に、目の前の出来事が、どういう時間的(歴史的)過程で形成されたのか、その散乱する断片的情報から「何が起きたのか」を的確に判断し、すべての断片をつないで、その後どう変化するのかを予測する。そうした論理的思考が欠如しているように思えてなりません(内田 樹氏「サル化する世界」より一部抜粋)。

「人を先に、私を後に」、常に最善の医療の提供が求められる医療者は、まさにこの思考方法の実践が強く求められる職種です。また、安心安全な豊かな社会を築くため、必須の思考アプローチであるともいえます。

本院においても、感染症のみならず、様々な課題があります。刹那に走らず、広く客観的な視野をもち、将来へ向けての時間軸のなかで「今」を見、速やかに効率的に、諸事に対応していく、このことを肝に銘じ、職務を全うしていきたいと考えております。

(7月1日の就任に際し、自戒と本院のさらなる展開への決意を込めて)

病院長在任の12年間を振り返って

理事長付顧問、内科部長 照井 健



院長の退任に当たりご挨拶申し上げます。
まず、2008年より東札幌病院の院長在任中の12年の間、ご協力いただきました病院内外の多くの方々に御礼を申し上げます。私は今後も理事長付顧問・内科部長として引き続き診療に携わり、地域医療に貢献する所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

この12年間を振り返りました。当院へのご理解の一助となり、今後とも皆様のお力添えを賜りますと幸甚に存じます。

12年前、2008年は新棟（現、東棟）の増築工事が進行中でした。2009年8月のオープンにより病棟の面積が1.5倍に拡大し、放射線治療装置やMRIなどを導入し、PCUを28床から58床に増床しました。医療保険制度「悪性腫瘍に関わる専門病院」の認可を受けてあらゆる面でのゆとりができました。当院の入院患者の約85%は悪性腫瘍であり、約50%は進行がん、緩和ケア目的で入院し、自宅療養が困難な方が多く、入院期間が延びがちですが、「悪性腫瘍に関わる専門病院」の認可により、入院患者の平均在院日数が21から28日まで可能になりました。

この12年間の医学の進歩は目覚ましいものです。例えば、治療の面では次々と新規の分子標的薬の登場、ノー

ベル賞受賞で一般人にも周知となった免疫チェックポイント阻害剤の適応の拡大など。この結果、以前ならばベストサポータティブケア、緩和ケアのみと診断されてきた進行がん患者の腫瘍がコントロールされ、生命予後が大きく変わることも少なくありませんでした。

一方、当院では進行がんの患者に化学療法、放射線治療と同時に疼痛や治療による副作用の軽減、精神的な面のサポートをしながら治療を継続し、緩和ケア中心になった場合も主治医である臨床腫瘍医が最期まで担当します。当院ではこのように設備の整備と「悪性腫瘍に関わる専門病院」の認可、臨床腫瘍医が緩和医療を同時に行い、患者・家族を支えるチーム医療ががん治療と緩和医療の統合を実践しています。

また、医療機関同士の連携の進歩も着実に進んだことを改めて実感します。

当院は、多くの患者の紹介と当院からの逆紹介で多くの医療機関のお世話になっております。私は17年前に当院に赴任時から地域の医療機関と「顔の見える連携」を築きたいと願ってきました。2015年、札幌市医師会の支援により、札幌市在宅医療協議会が発足しました。すでにご存知のことと思いますが、訪問診療、訪問看護、包括支援



サバティカルで6カ月滞在されたDr.Stiefelご夫妻の送別会



毎年参加する札幌ドームリレーマラソン

センターと入院診療もしている後方支援病院がお互いの連携を円滑にすることを目的にしています。発足から間もなく、それぞれの後方支援病院の病院紹介が順次行われました。私も多くの病院紹介に参加する機会があり、当院の病院紹介にも約30名が参加していただきました。

当院は開院以来、訪問看護ステーション、老人保健施設デイ・グリューネンの開設、地域包括支援センター、介護予防センター、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション、訪問診療ヘルスケアクリニック光の開設など地域医療を総合的に提供することで、がんの総合医療を提供する体制を整えてきております。

東札幌病院の海外との交流の進展について。

当院の海外交流は1990年のカルバリー病院研修のころから始まり、1993年のハワイカンファランスを経て30年間も続いています。2011年からは毎年、ニューヨーク市のカルバリー病院への1カ月の研修が始まり、私は初回の研修の機会をいただきました。さらに、2013年からは約1週間の短期研修でカルバリー病院、コロンビア大学附属病院、コネティカットホスピスなどを見学します。これまで、1カ月研修に18名、短期研修に約40名が参加しています。カルバリー病院の総院長のMichael Brescia先生、同院緩和ケア研究所(Palliative Care Institute)のRobert Brescia先生をはじめ多くのスタッフからは、Non Abandonment(決して見捨てない)という姿勢を患者・家族に示し続けること、チーム医療を高度なレベルで実現することが、がん患者・家族へファーストクラスの医療を提供することを見せていただきました。

そして、2014年には海外交流、学問的な役割として当

院が主催する「第1回 がん緩和ケアに関する国際会議(SCPSC)」を札幌で開催いたしました。この講演会はお世話になってきた海外の緩和医療のエキスパートの先生方を札幌にお招きして、日本さらにアジアの医療者にその講演を聞いてほしいという石谷理事長の願いからはじまりました。第1回のプログラムは石谷理事長とニューヨークの2人のご友人、MJHS Hospice and Palliative Care(当時、Beth Israel Medical Center)のPortenoy先生とMemorial Sloan-Kettering Cancer CenterのBreitbart先生のアイデアにより、単なる記念講演会ではなく、世界一流の緩和ケア研究者のサミットになりました。2014年の1st SCPSCはUSA、ヨーロッパ、オーストラリアから17人の演者を迎え、20カ国から約800人の参加により開催されました。この内容は高い評価を受け、第2回の開催を期待する声が多く寄せられました。その要請にこたえ2017年6月に2nd SCPSCが開催され、2014年と同様に素晴らしいカンファランスとなりました。3rd SCPSCは今年、2020年8月に予定し、これまで同様以上の素晴らしいプログラム、抄録が集まりました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症のために来年に延期となりましたが、皆様のご期待に沿えるよう準備いたします。

東札幌病院はこれまでも、これからも、日本の世界のPalliative Care Instituteとしての役割を担っている。と、実感しながら過ごした12年でした。当院は、がんの総合医療を創造し、総合的な地域医療を提供してまいります。ありがとうございました。

今後も皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



ニューヨーク研修 カルバリー病院



2nd SCPSC晩餐会

第3回がん緩和ケアに関する国際会議(3rd SCPSC)

開 催 延 期 に 関 する ご 案 内

残念なお知らせをしなければならないことをお許しください。

このたびCOVID-19の感染がpandemicの様相になり、本年8月開催予定の3rd SCPSCを1年後の2021年8月20日(金)、21日(土)に延期することになりました。

この2月中旬より各方面の識者の方々と慎重に情報交換をしてまいりました。その結果、今回理事会の総意で延期の決定をいたしました。現在3rd SCPSCへはおよそ30の国々から参加の予定となっております。COVID-19の流行の時期は国によって異なり日本のみならず世界の状況を考慮しております。招待演者の方々、ポスターセッションの応募の方々、一般参加の方々、そして同行されるご家族の皆様の安全を第一に考えた結果でございます。

皆様からの素晴らしいabstractも含め3rd SCPSCの抄録集はすでに完成しております。そしてBMJSPCare掲載の手続きの最中でありました。

延期する2021年8月の3rd SCPSCも予定していたプログラムと同じ企画で開催いたしたいと存じております。ご多忙とは思いますが、ぜひその節はご参加いただけますようお願い申し上げます。

なお、提出いただきましたabstractに関しましては、このまま2021年の3rd SCPSCで使用させていただき、発表をお願いしたいと考えております。詳細につきましては、改めてご連絡いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、すでに参加登録等をされている方へは、その取り扱いについて別途メールで詳細をご案内いたします。

The International Research Society of the SCPSC 理事長
東札幌病院 理事長 石谷邦彦

本件に関するお問い合わせ先

第3回がん緩和ケアに関する国際会議 事務局 **医療法人東札幌病院**

札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35 TEL:011-812-2311 FAX:011-823-9552
E-mail:office@sapporoconference.com <http://www.sapporoconference.com>

平成31年～令和1年度 東札幌病院業績【2】

(平成31年4月1日～令和1年3月31日)

前号に引き続き、当院の業績をご紹介します。

医局

英語論文

1. Alame M, Cornillot E, Cacheux V, Tosato G, Four M, De Oliveira L, Gofflot S, Delvenne P, Turtoi E, Cabello-Aguilar S, Nishiyama M, Turtoi A, Costes-Martineau V, Colinge J
「The molecular landscape and microenvironment of salivary duct carcinoma reveal new therapeutic opportunities」
Theranostics. 2020 Mar 15;10(10):4383-4394.

地域連携室

講義

1. 中原芳枝
「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」
北海道介護支援専門員専門研修I
2019.7.22、10.29(札幌)

全国学会

1. 佐々木あづさ
「がん皮膚自壊創(MFWs malignant fungating wounds)を持つ患者の受診遅延理由とその後の治療経過」
第27回日本乳癌学会学術総会 2019.7.11
(東京)

地方学会

1. 佐々木あづさ
「がん皮膚自壊創を持つ患者の受診遅延理由」
第17回日本乳癌学会北海道地方会(札幌)
2019/10/19

研修会

1. 佐々木あづさ
「Advanced breast cancer symposium in Hokkaido」
終末期現場からの報告 パネリスト
2019.10.31(札幌)

助言

1. 佐々木あづさ
「乳癌治療と医療連携」
空知乳がん診療懇話会 2019.10.28(滝川)

栄養課

全国学会

1. 市場尚子、板倉育子、橋口絵里、村田奈々、渡邊真理子、日下部俊朗
「減圧目的のためPTEGを増設しチューブ閉塞することなく自宅での生活が可能であった一症例」
第17回北海道胃腸研究会 2019.11.2
(札幌)

医療関係者の皆様へ

患者さんのご紹介～受診・検査・入院予約につきまして

当院では、他医療機関からのご紹介による患者受診受付を、患者支援部門地域連携室で承っております。

予約・予約変更の電話受付時間

月曜日～金曜日:9時～17時

土曜日:9時～12時

TEL

011-812-2311 内線1459

011-817-5120 (または) 011-555-3167 (いずれも直通)

FAX

011-817-5130

ご紹介の流れ

1 一般外来受診希望者のご紹介

(セカンドオピニオン外来、病をよく知る外来(病理相談)を除く)

ご紹介元医療機関



電話またはFAX

[診療予約(一般外来)申込票Word]にて
予約日時、患者受診料を決定

東札幌病院地域連携室



東札幌病院受診予約票(Word)、
問診票(PDF)をご紹介元医療機関にFAX

ご紹介元医療機関



患者さんへ紹介状
[診療情報提供書(投薬情報を含む)]と
予約票、問診票をお渡し

患者さん



予約日時に保険証、紹介状、予約票、
問診票などを持参し、外来受診

2 緩和ケア目的での入院、 外来通院希望者のご紹介

ご紹介元医療機関



電話にてご相談

東札幌病院地域連携室



受診日を調整
(基本的にご相談のお電話中に調整)

ご紹介元医療機関



診療情報提供書(処方内容含む)のコピー、
患者情報用紙または看護添書のコピー、
保険証のコピーを当院へFAX

患者さん



予約日時に診療情報提供書(処方内容含む)の
原本、患者情報用紙または看護添書、
検査画像(直近のもの)および採血データ、
保険証原本、外来問診票を持参し、受診

※診療予約(一般外来)申込票、東札幌病院受診予約票、外来問診票、外来外科(肛門科)問診票、外来外科(乳腺)問診票、外来歯科・歯科口腔外科問診票は、当院ホームページでダウンロードできます。
<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>

※外来問診票は、「患者のみ受診」もしくは「患者と家族が受診」する場合は患者用の外来問診票を、「家族のみ受診」する場合は家族用の外来問診票をご持参ください。
※入院・転院患者情報用紙、外来問診票(患者用・家族用)は当院ホームページでダウンロードできます。
<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>
※保険診療となります。診断群分類別包括制度(DPC)の場合など、医事課での連絡文書をお願いします。

当院では、適切な説明のもとに、受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択されるよう努力しております。

患者・ご家族の皆様と緩和ケアの方針に齟齬が生まれないよう、
可能な限りご説明に関わる情報についてご提供いただきますようお願い申し上げます。

外来医師スケジュール

(2020年8月1日～)

	診療時間	月	火	水	木	金	土	
午前	9:00～12:00	1診	照井	平山	照井	平山／小野	照井	交代制
		2診	石谷	石谷 9:00～11:00	石谷	三原	三原	
		3診	日下部	伊藤	渡邊	長岡	日下部	
		4診	二階堂	二階堂	二階堂	二階堂	二階堂	
		5診	高木	古谷	高木	秋津 (禁煙外来) 11:30～12:00	秋津 (禁煙外来) 11:30～12:00	
		6診	山口 10:00～	柏木 10:00～		山口 10:00～	柏木 10:00～	
		7診	久村	大村	空閑	大村		
		8診	伊達		伊達	井須 第1・第3・第5週 廣田 第2・第4週 9:45～	村田	
		9診			佐藤 (病をよく識る外来)		西山 (セカンドオピニオン外来)	
		内視鏡	伊藤	長岡	日下部	渡邊	長岡	
		腹部エコー			三谷			
		口腔外科	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	

	診療時間	月	火	水	木	金	土	
午後	14:00～17:00	1診	三谷 13:30～	小野	平山	町野	三谷	休診
		2診		札幌大出張医 13:30～	札幌大出張医 13:30～	札幌大出張医 13:30～	札幌大出張医 13:30～	
		3診	長岡	渡邊		伊藤		
		4診	中村		町野		中村	
		5診	秋津			高木		
		6診	柏木					
		7診		大村	大村	外科担当医 (手術のため緊急対応のみ)	空閑	
		8診		井須	井須	伊達		
		内視鏡	渡邊	日下部	長岡	札幌大出張医	伊藤	
	13:30～17:00	口腔外科	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	水越／太子 高田／石谷	

※外来受付時間 月曜日～金曜日8:30～17:00 土曜日8:30～12:00
 ※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。
 ※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も行っております。
 詳細は受付にお問い合わせください。
 ※禁煙外来(要予約) 木曜日・金曜日11:30～12:00 担当医師:秋津

※病をよく識る外来(要予約) 水曜日9:00～12:00 担当医師:佐藤
 ※セカンドオピニオン外来(要予約) 金曜日9:00～12:00 担当医師:西山
 ※石谷外来 火曜日9:00～11:00
 ※整形外科外来 木曜日 第1・3・5週 井須、第2・4週 札幌大出張医
 ※外科外来は、手術等により診療時間が変更となる場合があります。



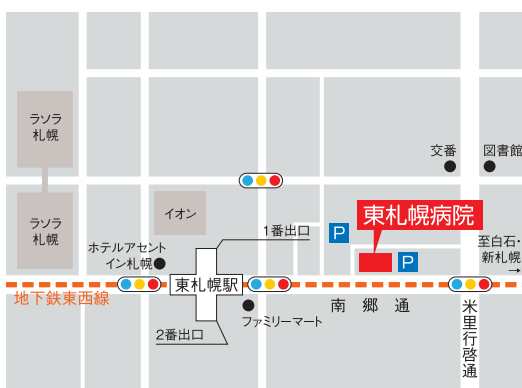
医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院2 3rdG: Ver.1.1）、付加機能（緩和ケア機能）の認定を受けています。

■認定期間
2015年9月26日～2020年9月25日



日本医療機能評価機構
認定第 JC669 号

一般病院2 3rdG:Ver.1.1



●交通のご案内
地下鉄東西線「東札幌駅」より
徒歩5分

駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です（以後30分50円）。

Higashi Sapporo Hospital

医療法人 東札幌病院

〒003-8585
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
電話 011-812-2311 (代表)
FAX 011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: <http://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。